

朗読のつどい

日時 平成31年3月2日(土)
午後1時30分から3時30分まで

場所 2階 研修室

朗読 土崎図書館朗読ボランティア「はまなす」の皆さん

目の不自由な方々とそのご家族、そして地域の幅広い世代の皆さんに耳からの読書を楽しんでいただく朗読会です。
事前申込は不要です。直接会場へお越しください。

かぞくぶっくぱっくリニューアル

新しい本との出会いを楽しむ「かぞくぶっくぱっく」の中身が12月にリニューアルしました。お子さんの年齢に合わせて5冊の本が入っています。中身は借りてからの楽しみですが、どんな本が入っているか、ヒントがついているパックもありますよ。ぜひ、ご利用ください。

読書の記録帳ケース、お持ちですか？

読書の記録帳を入れるケースを北都銀行様よりいただきました。記録帳の折れや磁気飛びを防ぐことができます。図書館利用カードも入れることができるのでとても便利です。まだお持ちでない方は、カウンターにお声がけください。(配布対象：赤ちゃんから小学生まで)

赤ちゃんのためのおはなし会まる

〈日時〉
2月21日(木)
3月21日(木・祝)
午前10:00~10:30

〈場所〉
2階研修室

※1月はおやすみです。

〈対象〉
0,1歳児とその保護者

〈内容〉
赤ちゃんが楽しめる
絵本や手遊びなど

〈申込〉
不要(当日直接会場へ)

ブックスタート推進事業

〈日時〉
1月10日(木)
2月7日(木)
午前10:30~11:30
午後2:00~3:00

場所: 2階 研修室
対象: 秋田市在住の
0歳児と
その保護者



土崎図書館のカレンダー

1・2月の行事予定

1/10 ブックスタート
1/26 読書感想文
コンクール表彰式
2/7 ブックスタート
2/21 おはなし会〇

定例活動

対面朗読(火・木)
おはなしの会(第1,3,4土)
おりがみの会(第2土)

行事のある日 休館日

1月							2019						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31								
2月													
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28									

図書館員のつぶやき

秋田市民合唱祭を毎年必ず聴きに行きます。知人からの誘いに義理で出かけたのがきっかけでしたが、以来欠かさず聴いています。客席には私のような一般客は少なく、出番前もしくは出番の終わった方々がきれいな衣装のまま、あるいは着替えてホッとした表情で座っていたり、出演者の家族や友人が緊張の面持ちでステージを見つめていたりするので、会場全体がアットホーム。肝心の合唱のほうは、プロに迫るほどの歌声もあれば、ああ惜しいと思ってしまうこともあり、でもそれはそれ。仲間と合唱する人もそれを聴かせてもらう人も皆が思い思いに楽しんでいる時間、それがとても良いのです。(川尻)



第19回 読書感想文コンクール

「土崎図書館友の会」では、毎年北部地区の小・中学校を対象に読書感想文コンクールを行っています。たくさんのご応募、お待ちしております。

- 1 応募資格 秋田市北部地区小・中学校の児童生徒
- 2 題名 自由
- 3 字数 400字詰め原稿用紙3枚以内
(Bか2Bの濃い鉛筆で書いてください)
- 4 授賞 入賞者には賞状と賞品を授与
応募者全員には参加賞を差し上げます。
- 5 結果発表 入賞者名と表彰式(1月26日の予定)
について、所属の学校へ連絡します。
- 6 締切日 平成31年1月20日(日)
- 7 提出方法 土崎図書館へ直接、または学校へ提出してください。

秋田市立土崎図書館(ほくとライブラリー)
〒011-0946 秋田市土崎港中央六丁目16-30
TEL 845-0572 Fax 845-9912
市立図書館ホームページ
<https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/index.html>



新しく入った本の紹介

(担当:加賀屋)

ビジュアルとキャッチで魅せる

POPの見本帳

川俣 綾加／著

エムディエヌコーポレーション

674

目を引く文字や誰かに教えたいくなるキャッチコピーが書かれている、そんなPOPに出会ったことはありませんか？この本では、実際に店頭で並んでいるPOPがテーマ別に紹介されています。つい商品を手にとってしまっているのは、実はPOPに惹きつけられているからなのかも…。

金足農 雑草魂の奇跡

高校野球番記者有志の会／著

青志社

A783

あの夏の感動が1冊の本になりました。読んでいていろいろな場面を思い出してしまい、ついうるっときてしまいます。吉田輝星選手や金農ナイン、甲子園のことについてはもちろんのこと、秋田の男子高校生が真冬でもコートを着ない理由や金農パンケーキなど話題が満載です。

たてがみを捨てたライオンたち

白岩 玄／著

集英社

Fシ

専業主夫になるべきか悩む30歳出版社社員の直樹。離婚して孤独をもてあます35歳広告マンの慎一。モテないアイドルオタクの25歳公務員の幸太郎。境遇は違えど“男らしさ”について悩む3人が主人公の物語。男性目線の悩みや葛藤は、女性が読んでも共感できます。

新しく入った子どもの本

(担当:小玉)

パンのずかん

大森 裕子／作

井上 好文／監修

白泉社

Eオ

いらっしゃいませ！くまベーカリーでは世界のパン104種をご用意しています。パンには、作られた国がわかる国旗マーク付き。おいしそうな絵がずらりと並び、楽しくパンの形や名前が覚えられます。パンを作る工程も紹介されているので、これを読めばパン博士になれるかも？

牛乳パックで作るミニチュア家電

佐藤 京子／著

ブティック社

75

おしゃれなトースターに洗濯機…実はこれ、牛乳パックでできているのです。しかも、本物のように動かして遊ぶこともできます。作るときは、細かい作業が多いので家族みんなで力を合わせてチャレンジしてみましょう。

QRコード付きで、実際に動く様子も見られます。

けんこうだいいち

マンロー・リーフ／作

渡辺 茂男／訳

復刊ドットコム

93リ

1969年に出版された名作が再び復刊。病気にかかると「元気になったら健康に気をつけよう」と思うのですが、元気になるとつい忘れてしまうもの。どうしたらいつも健康でいられるのか、普段の生活で大事なことをわかりやすく教えてくれる1冊です。

おすすめ BOOK リスト

今回のテーマ 手紙を「読む」愉しみ (担当:藤原)

メールやSNSのやりとりが増え、郵便物の取扱いは毎年減少しています。我が家の便箋や封筒も、使われることなく眠ったまま。日々の生活で不自由を感じることはないのですが、心配事がひとつ。過去の手紙を手がかりに「事件の真相に迫る」「当事者の生の声を知る」といった愉しみは、50年後、100年後にも残っているのでしょうか。

百年の手紙 日本人が遺したことば (岩波新書)

梯 久美子／著 岩波書店 281

近況報告、恋文、直訴状、遺書、弔辞など、20世紀の100年間に書かれた手紙を紹介。政治家や文豪の恋文は、彼らの意外な一面を教えてください。一方、戦場や獄中からの手紙は、用紙や時間、検閲などの制限の中で絞り出された言葉の重みを感じずにはられません。短い一文であっても時代背景や書き手の境遇から、さまざまなことが読み取れます。

錦繡

宮本 輝／著 新潮社 Fミ

ある事件により離婚した夫婦が、10年の歳月を経て再会したのは蔵王のゴンドラ・リフトの中。女は「お返事をいただくためではない」手紙を書き、当時の心境を告白する。男は「返事を出す気持ちはまったくない」とためらいつつ筆を取り、事件の背景を語り出す…。

お互いが過去を振り返るだけでなく、やりとりを通して現在の苦悩や人間関係に解決策を見出ししていく往復書簡。

物書きブライ漢 杉田瑞子

秋田出身の芥川賞候補作家

石塚 政吾／著 新典社 A910

杉田瑞子は昭和4年に土崎に生まれ、高校の教員をしながら執筆活動を始めます。結婚・出産後は一家の主婦として子育てに明け暮れながら執筆を続け、昭和43年には「北の港」が芥川賞候補作となります。土崎図書館の種蒔く人資料室には、杉田が金子洋文にあてた書簡が保存されています。

「地方出身者でなければ書けないもの、書くべきものがある」「…母親としては、不完全だらけな、自分自身の遺産として、書いて参るつもり」(金子洋文宛書簡より)という言葉が、彼女の「作家魂」を今に伝えてくれます。